

431 第12回福智町弓道大会 人が力強い快音を響かせる

福智町弓道連盟主催の「第12回福智町弓道大会」が12月11日に福智町弓道場で開催されました。県内外から参加した高校生やベテランの射手など431人は、張りつめた雰囲気の中、深呼吸などをしながら精神を集中。弓道場に的を射抜く快音を響かせ、日ごろの成果を競いました。また、町内から参加した原口勝利さん(神崎)が個人の部で準優勝に輝きました。



↑ 集中力を高めて、28センチ先の直径36センチの的を目掛けて力強く矢を放つ参加者。

↓ 参加者305人は辛さんのパワフルで鋭い人権感覚に終始聞き入っていました。



被 福智町人権講演会 被災地の現状から人権意識高揚を訴える

テレビでも活躍中の人材育成コンサルタント・辛淑玉さんを招いた人権講演会が、12月21日に同和対策研修センターで開催されました。「人権力を養う」をテーマに、辛さんがボランティアで訪問した東日本の被災地で、テレビでは報道されない現地での人種差別や男女差別などを報告。「壮絶な状況下でも差別はなくなる」と、根強く残る差別の実態を訴えました。

地 下田川ニヶ町連合消防出初式 地域の安全確保へ決意新たに

新年恒例の「下田川ニヶ町連合消防出初式」が1月8日に糸田町で挙行され、福智町と糸田町あわせて消防団員464人・消防車20台が出動しました。式典では、大隊長の号令のもと、一糸乱れぬ服装点検や分列行進が披露され、地域の防災を担う強固な消防体制をアピール。昨年の東日本大震災と台風の被害をふまえ、防災への気持ちをより一層引き締めていました。



↑ 例年ない快晴のもと、整然とした分列行進で士気の高さを示す福智町消防団。

↓ 福智町人権講演会前に伝達式が行われ、参加者305人と一緒に受賞を喜びました。



中 金田中玉井さんが人権作文で奨励賞と町長表彰受賞 学人権作文コンテストでW受賞達成

次代を担う中学生に人権感覚を身につけてもらおうと、昭和56年から行われている「全国中学生人権作文コンテスト」。その県大会で奨励賞を獲得し、町長表彰を受賞した金田中1年の玉井美貴子さんへの伝達式が12月21日に同和対策研修センターで行われました。作文は「語り継ぐこと」と題し、戦争被爆者が現在でも苦しんで生活していることなどが書かれています。

↓ ホースを的確に操り、素早く正確な消火技術で優勝を勝ち取った第1分団。訓練の成果が生かされました。



素 第1回福智町消防団操法大会 早く的確な消火技術を競う

消防団員が日ごろの訓練を発表する「第1回福智町消防団操法大会」が1月22日、彦山川・中元寺川合流点河川敷で開催されました。競技内容は、ポンプ車から3本のホースをつなぎ、62センチ先の「火」と記された的に放水するまでの時間や消防器具操作の正確さなどを競います。14の分団から5人ずつ選ばれた精鋭70人は、指揮者の号令に従い、息の合った連携を披露。雨が降る中での決行となりましたが、数秒を争う接戦を展開しました。【結果】優勝：第1分団(金田) 準優勝：第3分団(金田) 3位：第9分団(上野)

友 沖縄県中城村・福智町交流事業 好と絆を深めた貴重な3日間

沖縄県中城村と相互ホームステイを続けている福智町交流事業実行委員会主催の「交流会」が、1月20日から3日間行われました。初日の対面式で、河村雅さん(市場小6)が「地元では経験できない思い出を作ってください」とあいさつ。来町した16人は、2日目に待望の「雪」を英彦山で体験し、白い息を吐きながら福智の児童32人と思い出を刻みました。



↑ 対面式で披露された沖縄独特の音楽とリズムが特徴の伝統芸能「エイサー」。

↓ この日の最低気温は-0.5度。スタートダッシュで凍える体にムチを打つランナー。



師 田川郡駅伝大会・田川郡マラソン大会 走にほほを赤らめながら疾走

第46回田川郡駅伝大会と第28回田川郡マラソン大会が12月18日に彦山川・中元寺川合流点河川敷で開催されました。寒風が吹き抜けるなか、郡内から参加した約100人は、2kmから7kmのコースを疾走。息を弾ませながら駆けぬけました。また、この日は多くの保護者や住民が応援に駆けつけ、沿道からの温かい声援がランナーの背中を後押ししていました。